

本のぽけっと

5・6年生に
おすすめする本

市川市立図書館

二丁目の犬小屋盗難事件 夏休みだけ探偵団



新庄節美／作 大庭賢哉／絵 日本標準

オレは和戸尊。「ワトソン」とよばれている。夏休みのある日、塾の友だちの飛田透「トン」が、犬小屋が盗まれたと言う。よく聞くと、トンの家がある二丁目では犬小屋が合計4つ盗まれたそうだ。そこで、オレと同じクラスで「夏休みだけ探偵団」を結成している双子姉妹、冴と麗に調査をたのんだ。その後、オレとトンも団員になって調べているうちに、この二丁目では宝石盗難事件も発生していることがわかった。もしかすると、宝石は犬小屋にかくされていたのだろうか？

こども文様ずかん

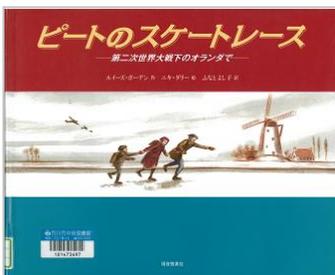
下中葉穂／著 平凡社

紋は、平安時代から伝わる日本の美しい「かたち」です。私たちの祖先は、動物や草花、天気などの身近な四季の自然を「かたち」にして、きものや旗に描き、平和なくらしや豊作をいのる気持ちをこめました。かき氷の旗に描かれている波とたわむれて飛ぶちどりや、ラーメン丼のぐるぐる模様、雷文も人と自然のいとなみを表しています。文様には、ひとつひとつに意味があり、物語がいっぱい詰まっているのです。

後ろのページに型紙がついているので、江戸時代のこどもたちが遊んだように、紙を折って型紙のとおりには切り抜くと紋ができる「もんきりあそび」が楽しめます。



ピートのスケートレース — 第二次世界大戦下のオランダで —



ルイズ・ボーデン／作 ニキ・ダリー／絵
ふなとよし子／訳 福音館書店

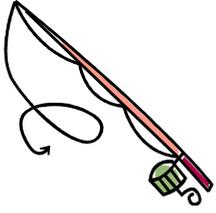


戦争によりドイツに占領されたオランダで、10歳の少年ピートはスケートに夢中だ。「エルフステーデントホト」という世界指折りのスケートレースに出ることが将来の目標で、強くて勇敢なスケーターになりたいと思っていた。

ある冬の日、ピートの1学年下の少女ヨハンナの父親がドイツ軍に連行された。ヨハンナとその弟にも危険がせまっていた。そこで、二人は16キロ先のベルギーのおばあさんの家へ逃げることになり、ピートは案内役をまかされた。ドイツ兵の目をごまかすため、遊んでいるふりをしながら、凍った運河を必死にスケートですべて行くことになったのだ。

オオサンショウウオの夏

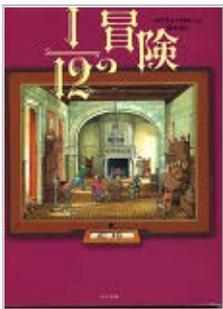
阿部夏丸／著 かみやしん／絵 佼成出版社



夏休み、小学4年生のユウスケはお父さんといっしょに広島のおじいちゃんの家に出かけた。おじいちゃんとお父さんは釣りを楽しんでいるが、釣りに全然興味がないうすけはゲームざんまい。

ある夜、ユウスケが一人で散歩していると、川にふしぎな少年がいるのを見つけた。少年は川の中を歩き、カジカ釣りをしているの

だった。ユウスケは、その少年トモと初めて会ったと思えないほど仲良くなって、釣りを教えてもらい夢中になる。そんなある日、トモに秘密の場所を案内され、家族にないしよで天然記念物のオオサンショウウオをねらうのだった。オオサンショウウオはつかまえられるのか。そして、コンビニやゲーム機を知らないというトモは、いったいだれなのだろうか。



1/12の冒険

マリアン・マローン／作 橋本恵／訳 ほるぷ出版



ある日、ルーシーとジャックは学校の社会科見学でシカゴ美術館に行った。そこには「ソーン・ミニチュアルーム」が展示されている。68部屋もあるミニチュアルームはすべて実物の十二分の一で作られ、細部まで完ぺきに、豪華に再現されているのだ。ジャックは偶然にもミニチュアルームの裏の廊下で金色に輝く鍵を手に入れた。しかし、それは触れると、体が縮んでしまう秘密の鍵であった。

そのことに気づいた二人はある晩、夜の美術館にしのびこみミニチュアハウスの部屋を冒険する。

続編に「1/12の冒険2 消えた鍵の謎」もあります。



「本のぼけっと」は、図書館から小学生のみなさんにおすすめしている本のリストです。



年に2回、最新号と基本版を各市立小学校に配布、市立図書館、関連施設でも配布しているほか、

バックナンバーはホームページでもご覧いただけます。また、ここで紹介している本は市川市の図書館で借りることができます。

中央図書館 平田図書室 自動車図書館 行徳図書館 信篤図書館 南行徳図書館 市川駅南口図書館